実習/調査船「たちばな」安全マニュアル

2026 年 7 月 28 日

横浜国立大学地域連携推進機構臨海環境センター

1. 乗船にあたって

・乗車可能人数（上限最大 14 名まで）は必ず守っていただきます。
・乗船にあたってはセンター職員および船長の指示に従ってください。
・船に酔いやすい人は、乗船 30 分前には酔い止めを飲むなど、各自で対策してください。
・乗船の前日は早めに休み、深酒や徹夜をしないでください。二日酔いや体調不良で乗船は厳禁です。

2. 気象・海況等の確認と出航の可否

・各自インターネットなどで気象・海況情報を入手しておいてください。
・出航の可否は、気象・海況に関する予報と当日の状況によって決定します。
・予報で当日の荒天が予想され、前日の段階で中止が判断できる場合は、前日夕方までに決定し、利用責任者に連絡します。

3. 服装

・怪我防止のため長袖長ズボン、帽子など肌の露出を少なくし、船上で作業をする場合は軍手などを着用してください。
・採水作業や海況によっては海水で濡れる場合があります。濡れてもよい服装か、またはカッパを着用してください。
・長靴や運動靴などの滑りにくい履物を履いてください。踵の無いサンダルなどの履物での乗船は禁止します。
・夏季は熱中症対策（帽子、タオル、飲み水、日焼け止め等)、冬季は防寒対策をしてください。
・調査や実習の内容によって、必要に応じてヘルメットを着用してください。貸し出し用のヘルメットはセンターにありますので、必要な場合は事前に申し出てください。
・センター職員の指示に従って、ライフジャケットを正しく着用してください。ライフジャケットは、「たちばな」に搭載されているもの使用するか、持参する場合は、国土交通省の安全基準を満たした「桜マーク」が付いたものを必ず使用して下さい。

4. 乗船中の注意

・船のバランスを考えて左右均等に着席してください。
・走航中はみだりに動き回らないでください。また、船首や船尾の中央に立たないようにし

てください。キャビンからの前方・後方視界の妨げとなることがあります。

・センター職員がウインチ等を動かす作業の時は、巻き込まれる恐れがあるのでその周辺には近づかないでください。特に、ウインチ作動中は、決してウインチワイヤーに触らない、ウインチワイヤーの下には立ち入らないようにしてください。

・船に積み込んだ機器は，必要に応じて固縛してください。

・甲板は滑りやすいので慎重に行動してください。

・作業の開始と終了は毎回、船長とセンター職員に口頭で報告してください。

・乗船中に船体や観測機器等に異常を発見したら、直ちに船長とセンター職員に伝えてください。

・乗船中は火気厳禁です。特別な事情により火気を用いる場合は、必ず船長の許可を受けてください。

・乗船中に気分が悪くなったら、船長や周囲の者にその旨を伝え、決して我慢しないでください。

・乗船中は禁煙です。

・海にゴミを捨てないでください。

・乗船し、ダイビング（SUCBA およびスキン）で調査・実習を希望する場合は、別途「ダイビング安全マニュアル」確認してください。

・乗船中に津波を伴う地震が発生した場合、津波到達までに十分な時間があり帰港と避難が可能な場合を除き、すぐに帰港しません。沿岸で波高が高くなる津波を避けるため、船は沖に向かい待機し、津波が収まったことを確認した後、帰港します。